



2026年3月期2Q(中間期)決算補足資料

日本精機株式会社（証券コード：7287）

2025年11月11日

実績

アセアン・インドの二輪車用計器の台数増加がけん引し、増収増益

1. 売上収益 +2.5% 営業利益 +52.3%（前年同期比）
 - アセアン、インドなどにおける二輪車用計器の販売が好調に推移
 - 四輪車用計器は、中国での苦戦に加え、北米でのヘッドアップディスプレイ（HUD）の販売減少により、減収
 - 営業利益は、二輪車用計器の増収などが寄与し、増益
2. 中間配当は、当初予想通り 40円（前年同期+15円）

予想

2026年 3月期 通期業績予想は修正なし

1. 通期業績予想は修正なし
 - 売上収益 320,000百万円・営業利益 11,300百万円・親会社の所有者に帰属する当期利益 8,000百万円
2. 期末配当は、40円/株（予定）で変更なし

2026年3月期 2Q (中間期) 業績

■ 売上収益

156,242百万円

前年同期比（増減率）

+3,795百万円（+2.5%）

■ 営業利益

5,247百万円

前年同期比（増減率）

+1,802百万円（+52.3%）

■ 税引前中間利益

6,163百万円

前年同期比（増減率）

+3,794百万円（+160.2%）

■ 親会社の所有者に帰属する 中間利益

3,735百万円

前年同期比（増減率）

+2,985百万円（+397.9%）

増減要因（前年同期比）

売上収益

中国市場における日本・欧州車の販売不振や為替影響があったものの、アセアン・インドの二輪車用計器の販売好調により、増収

営業利益

欧州での苦戦に加え一時金の支払いが影響したものの、二輪車用計器の増収が寄与し、増益

親会社の所有者に帰属する中間利益

為替差益（前年同期は為替差損）の計上などにより、大幅増益

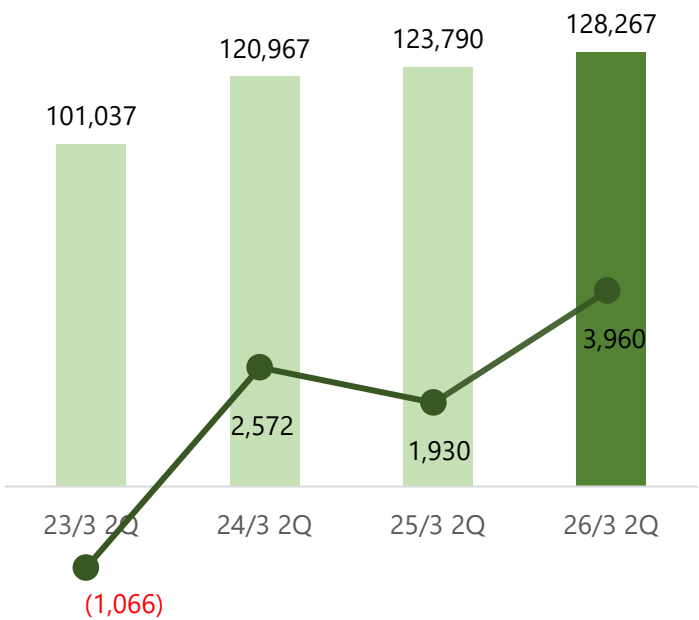
\$ 為替：1ドル＝146.02円（前年同期：152.78円）

事業セグメント別決算概要①

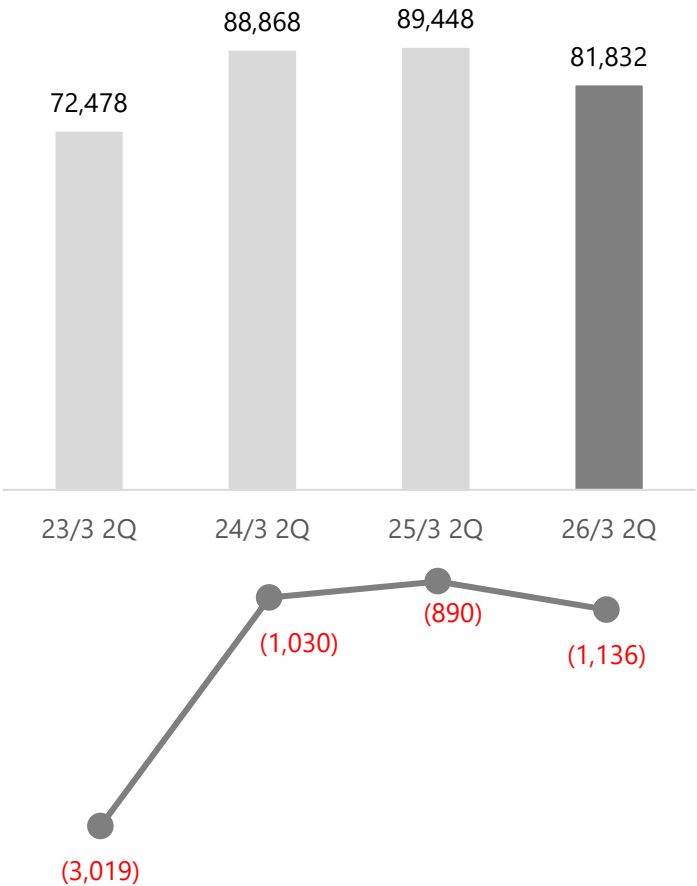
- 四輪車用計器：中国での苦戦や欧米でのHUD販売の減少、欧州での一時金の支払いなどにより、減収減益
- 二輪車用計器：アセアン・インドにおける販売増加が寄与し、増収増益

(単位：百万円)

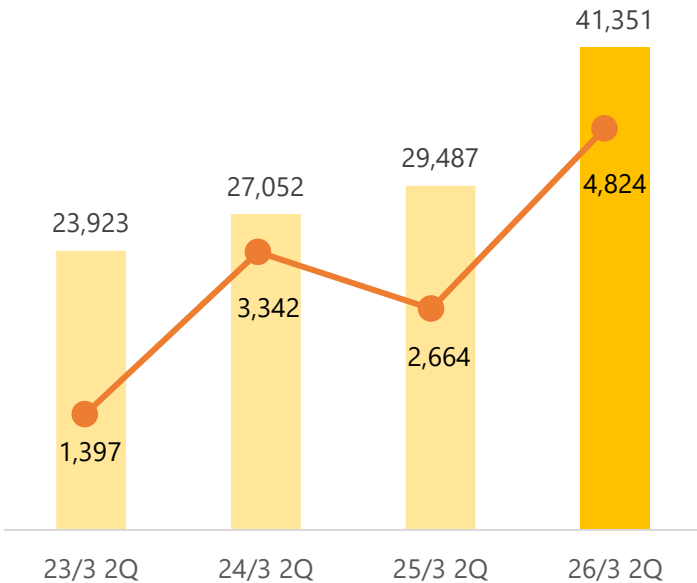
車載部品



四輪車用計器



二輪車用計器



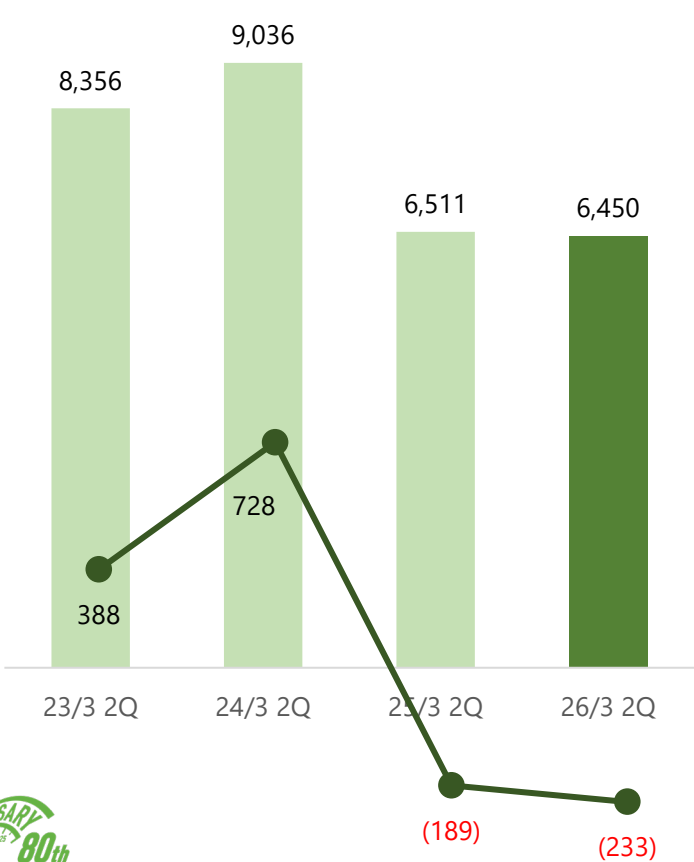
■ 売上収益 ● 営業利益

事業セグメント別決算概要②

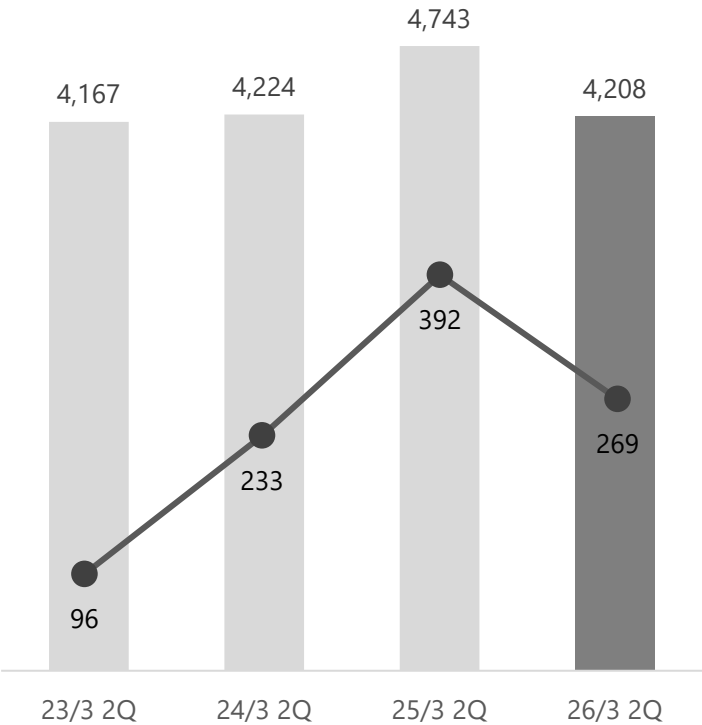
- 民生部品：売上は横ばいも、空調・住宅機器コントローラー等のプロダクトミックスにより減益
- 樹脂コンパウンド：得意先からの受注減少により減収減益
- 自動車販売：新車販売の苦戦が響き、減収減益

(単位：百万円)

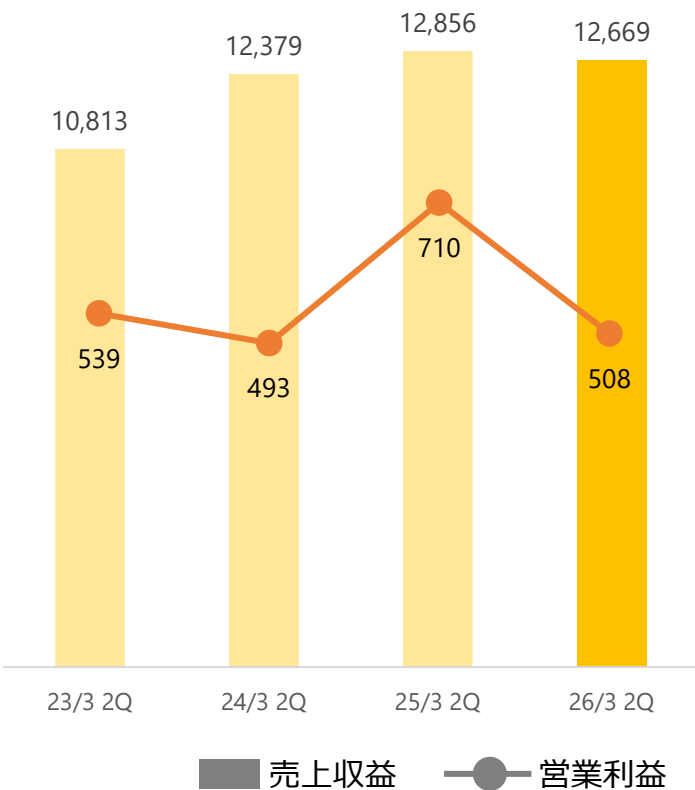
民生部品



樹脂コンパウンド



自動車販売

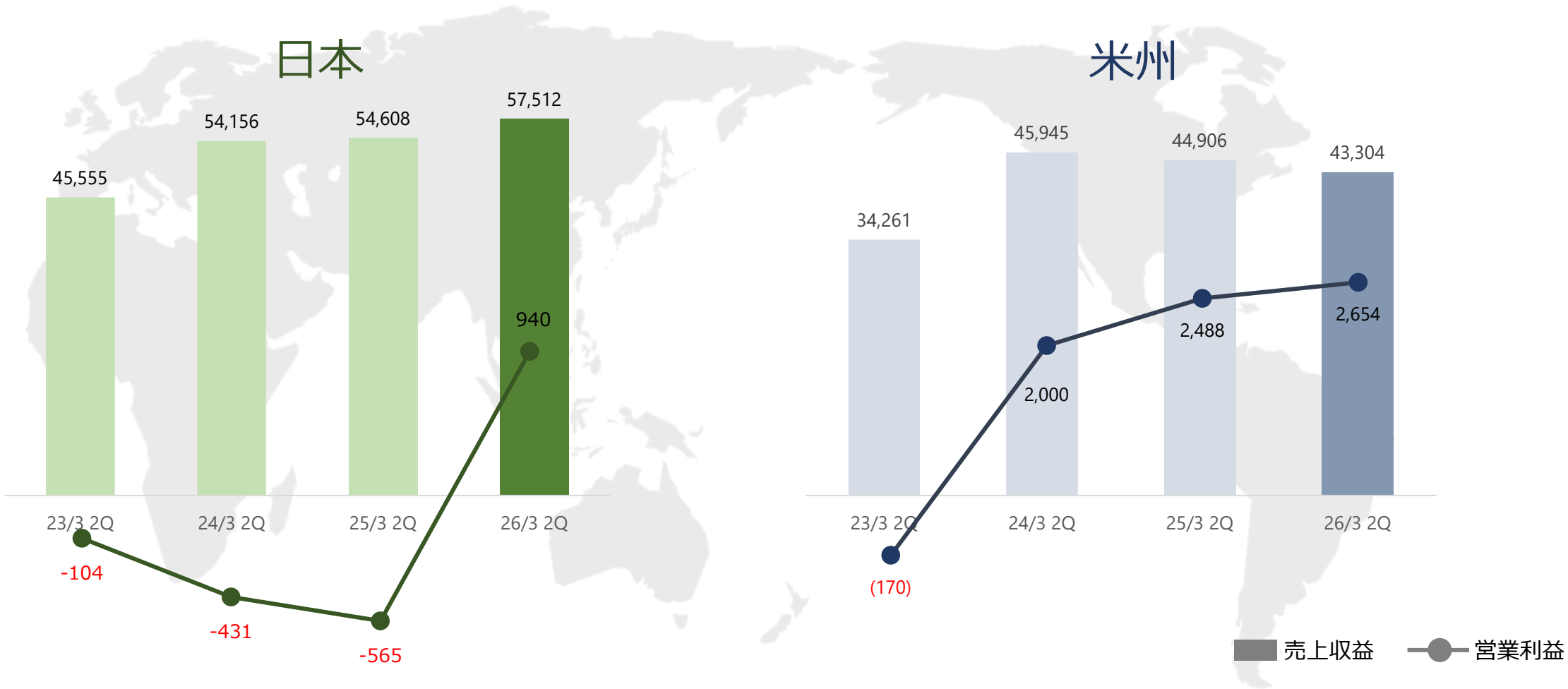


■ 売上収益 ● 営業利益

地域別決算概要①

- 日本 : 二輪車用計器の伸長により増収。営業損益は、増収効果や一部開発費の資産計上により黒字転換
- 米州 : 欧米系得意先向けの販売が低迷も、日系得意先向けの四輪・二輪車用計器が増加し、増収増益

(単位 : 百万円)

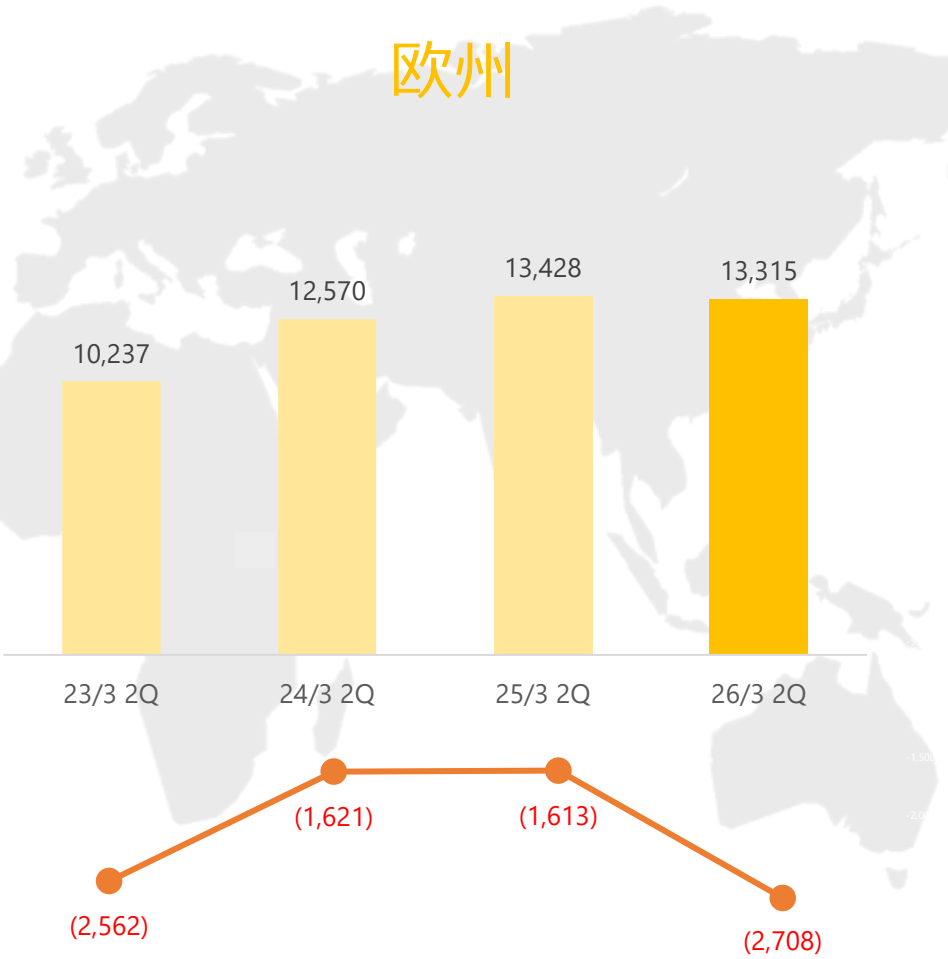


地域別決算概要②

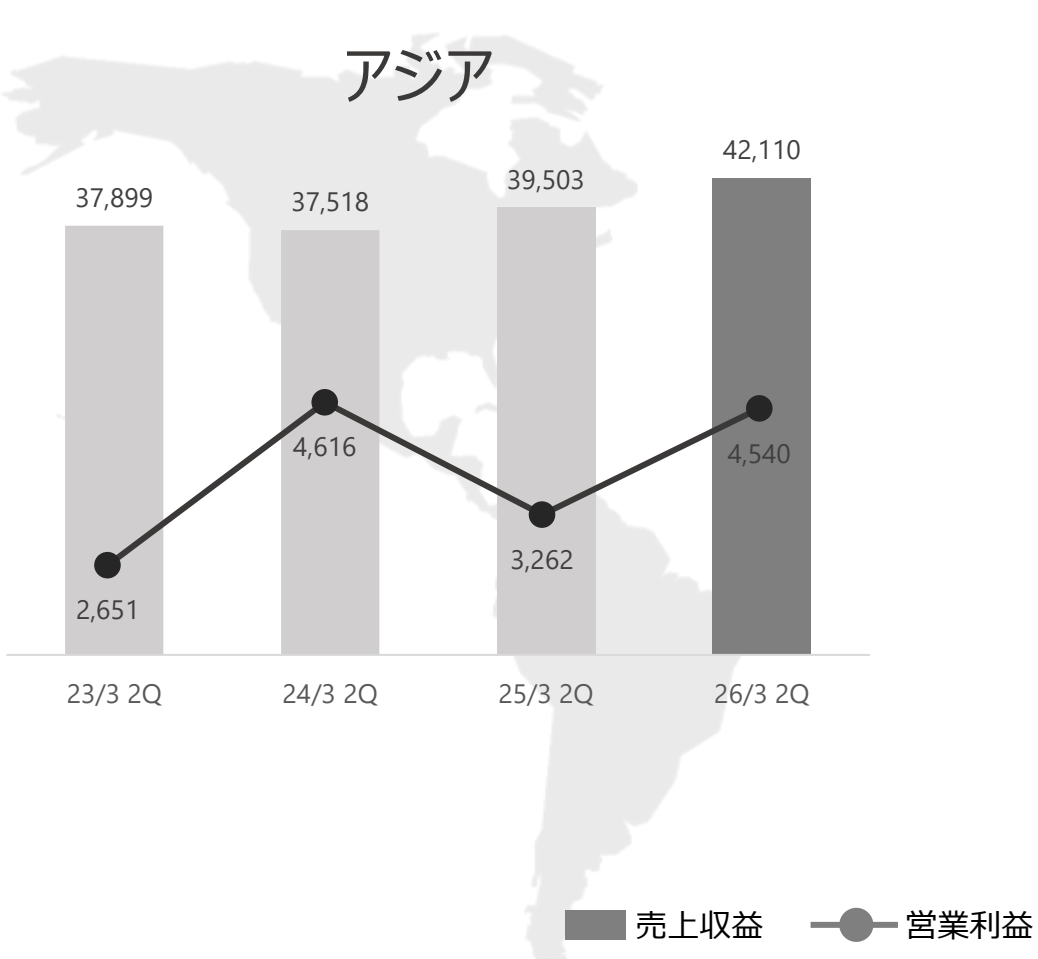
- 欧州 : 中国における販売不振によるHUDの台数減少および一時金の支払いにより、減収減益
- アジア : アセアン・インドにおける二輪車向け計器の増加により、増収増益

(単位 : 百万円)

欧州



アジア



ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。